



2025年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月11日

上場会社名 株式会社キャスター 上場取引所 東
コード番号 9331 URL <https://caster.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 中川 祥太
問合せ先責任者（役職名） 執行役員（氏名） 酒井 佑介（TEL）050-5893-4549
半期報告書提出予定日 2025年4月11日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（個人投資家・機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年9月1日～2025年2月28日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期中間期	2,290	—	△273	—	△274	—	△279	—
2024年8月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2025年8月期中間期 △279百万円（—%） 2024年8月期中間期 —百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期中間期	△142.52	—
2024年8月期中間期	—	—

（注）1. 2024年8月期末より連結財務諸表を作成しているため、2024年8月期中間期の数値及び対前年中間期増減率並びに2025年8月期中間期の対前年中間期増減率は記載しておりません。

2. 2024年8月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2025年8月期中間期	1,960		825		42.0
2024年8月期	2,455		1,103		44.9

（参考）自己資本 2025年8月期中間期 823百万円 2024年8月期 1,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年8月期	—	0.00	—	—	—
2025年8月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,037	13.4	10	—	△18	—	△13	—	△7.12

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社LUV0、除外 一社 (社名) 一
(注) 詳細は、添付資料 9 ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲の重要な変更)」をご覧ください。
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)				
① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025 年 8 月期中間期	1,960,460株	2024 年 8 月期	1,960,460株
② 期末自己株式数	2025 年 8 月期中間期	一株	2024 年 8 月期	一株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025 年 8 月期中間期	1,960,460株	2024 年 8 月期中間期	1,879,594株

※ 第 2 四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日公表するとともに、当社ウェブサイト (<https://caster.co.jp/ir/>) に掲載しております。また、2025 年 4 月 14 日 (月) に個人投資家・機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日の詳細、参加方法等については、当社ウェブサイトをご確認下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲の重要な変更)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

2024年6月に株式取得しましたグラムス株式会社は決算期が5月のため2024年6月～11月、2024年9月に設立した連結子会社である株式会社LUV0は2024年9月～2025年2月の業績を当中間連結会計期間の連結業績に含んでおります。当社グループは、前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、前中間連結会計期間との比較分析は実施しておりません。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、物価上昇や株価・為替の変動など経済環境に影響のある状況は続いておりますが、インバウンド需要の活性化や雇用情勢に改善の動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方で、地政学的リスクの高まりを背景としたエネルギー・原材料価格の高騰など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが展開する事業を取り巻く環境としましては、少子高齢化の進行等に伴う生産年齢人口の減少による人手不足や人件費の高騰などが大きく影響し、慢性的な人手不足の厳しい状況が続いております。帝国データバンクの「『従業員退職型』の倒産動向(2024年)」によると、2024年の人手不足倒産342件のうち、従業員や経営幹部などの退職が直接・間接的に起因した「従業員退職型」の人手不足倒産が87件となり、集計可能な2013年以降で過去最多を記録しました。労働者の賃上げ要求が高まる一方、収益力の乏しい中小企業では待遇改善が難しく、人材流出による倒産が2025年に増加する可能性が高まっており、人手不足解消に向けた業務の省力化・効率化の取り組みが急がれています。

このような環境のもと、当社創業時からのミッションである「リモートワークを当たり前にする」のもと、バックオフィス業務などを国内外から参画するリモートワーカーがオンラインで代行するアシスタントサービス「CASTER BIZ」シリーズ等の提供に加え、業務効率を向上させるSaaSベンダーやBPOベンダーとのアライアンスにより、人手不足に悩む企業へ「解決策と人材」を提供することや、技術面や生産性向上を支援するBPaaSの取り組みに加え、クライアント企業への生成AI導入支援を進めるなど、人手不足への解決策を提供しております。2025年2月末時点のサービス導入企業数累計は約5,500社(当社単体)、従業員数は847人(当社単体、臨時従業員含む)と順調に拡大しております。

また、2024年9月に株式会社オルツとの合併会社である株式会社LUV0を設立し、生成AIを活用したプロダクト開発及びサービス運用を展開しております。同年11月には、KPMGジャパンとの協業による経理業務改革支援に向けた取り組みを開始し、サービスの構築を進めております。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高2,290,805千円、営業損失273,901千円、経常損失274,926千円、親会社株主に帰属する中間純損失279,408千円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、当中間連結会計期間より、従来「WaaS事業」としていた報告セグメントの名称を「BPaaS事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

(BPaaS事業)

BPaaS事業は、低ロットサービスの好調により稼働社数の伸びが拡大したものの、アップセルの効果が限定的に留まり、第1四半期で発生した大型案件の解約影響を取り戻せなかった結果、ARPU(顧客平均単価)が低下しております。費用については、受注状況を踏まえながら、サービス体制の強化や専門サービスの運営にあたる人材獲得等の先行投資の調整を図っております。

以上の結果、売上高1,777,572千円、セグメント利益(営業利益)277,354千円となりました。

(その他事業)

その他事業は、人手不足による中小企業の採用難である状況を受けてリモート人材の紹介・在宅派遣の売上高は堅調に推移しております。グラムス株式会社ではEC事業者向けのBPO事業や独自開発システムによる売上高が堅調に推移しており、株式会社LUV0においてはAIエージェント関連の売上が計上され始めたことが売上成長に貢献しております。費用については、コストコントロールの実施を継続することで赤字幅は縮小の傾向にあります。

以上の結果、売上高513,233千円、セグメント損失(営業損失)93,736千円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は1,960,263千円となり、前連結会計年度末に比べ494,957千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が466,693千円、売掛金及び契約資産が16,822千円、のれんが26,939千円減少したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は1,134,726千円となり、前連結会計年度末に比べ217,344千円減少いたしました。これは主に、短期借入金が30,000千円、未払費用が55,428千円、未払法人税等が17,766千円、流動負債のその他が94,470千円、長期借入金が18,427千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は825,537千円となり、前連結会計年度末に比べ277,613千円減少いたしました。これは主に、株式報酬費用の計上により新株予約権が1,794千円増加したものの、利益剰余金が279,408千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、1,140,192千円となり、前連結会計年度末に比べ466,693千円減少となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動による資金の減少は、407,826千円となりました。これは主に、税金等調整前中間純損失276,931千円、未払金の減少額63,355千円、未払費用の減少額52,643千円、未払消費税等の減少額30,823千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少は、9,278千円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出1,171千円、無形固定資産の取得による支出7,818千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動による資金の減少は、49,542千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出18,427千円、短期借入金の純減少額30,000千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期の連結業績予想につきましては、2024年10月11日に公表いたしました通期業績予想から変更はありません。

なお、当該業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成されており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,636,886	1,170,192
売掛金及び契約資産	351,908	335,085
その他	70,892	83,922
貸倒引当金	△4,158	△3,854
流動資産合計	2,055,529	1,585,346
固定資産		
有形固定資産	17,708	16,570
無形固定資産		
のれん	368,590	341,650
その他	10,414	14,110
無形固定資産合計	379,004	355,761
投資その他の資産		
その他	3,771	3,607
貸倒引当金	△792	△1,022
投資その他の資産合計	2,979	2,584
固定資産合計	399,692	374,917
資産合計	2,455,221	1,960,263
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,339	49,853
短期借入金	330,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	37,568	37,568
未払費用	399,425	343,997
未払法人税等	31,725	13,959
支店閉鎖損失引当金	11,251	247
その他	333,077	238,606
流動負債合計	1,183,386	984,232
固定負債		
長期借入金	158,042	139,615
退職給付に係る負債	2,590	3,933
その他	8,051	6,945
固定負債合計	168,683	150,494
負債合計	1,352,070	1,134,726
純資産の部		
株主資本		
資本金	190,614	190,614
資本剰余金	1,580,963	1,580,963
利益剰余金	△668,800	△948,209
株主資本合計	1,102,776	823,367
新株予約権	374	2,169
純資産合計	1,103,151	825,537
負債純資産合計	2,455,221	1,960,263

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
売上高	2,290,805
売上原価	1,437,106
売上総利益	853,699
販売費及び一般管理費	1,127,601
営業損失(△)	△273,901
営業外収益	
受取利息	543
補助金収入	1,259
為替差益	1,285
キャッシュバック収入	2,174
その他	412
営業外収益合計	5,676
営業外費用	
支払利息	3,399
支払手数料	2,479
その他	822
営業外費用合計	6,700
経常損失(△)	△274,926
特別損失	
支店閉鎖損失	2,005
特別損失合計	2,005
税金等調整前中間純損失(△)	△276,931
法人税、住民税及び事業税	2,477
法人税等合計	2,477
中間純損失(△)	△279,408
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△279,408

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	
中間純損失(△)	△279,408
中間包括利益	△279,408
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	△279,408
非支配株主に係る中間包括利益	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純損失(△)	△276,931
減価償却費	3,656
のれん償却額	26,939
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△73
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,343
支店閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△11,003
受取利息及び受取配当金	△544
支払利息	3,399
為替差損益(△は益)	40
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	16,822
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△17,677
仕入債務の増減額(△は減少)	9,514
未払金の増減額(△は減少)	△63,355
未払費用の増減額(△は減少)	△52,643
未払消費税等の増減額(△は減少)	△30,823
契約負債の増減額(△は減少)	2,155
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△17,426
その他	2,256
小計	△404,352
利息及び配当金の受取額	544
利息の支払額	△3,278
法人税等の支払額	△5,347
法人税等の還付額	4,607
営業活動によるキャッシュ・フロー	△407,826
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,171
無形固定資産の取得による支出	△7,818
その他	△288
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,278
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△30,000
長期借入金の返済による支出	△18,427
その他	△1,115
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49,542
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△466,693
現金及び現金同等物の期首残高	1,606,886
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,140,192

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間(自2024年9月1日 至2025年2月28日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(連結の範囲の重要な変更)

当中間連結会計期間において、2024年9月2日付で株式会社LUV0を新規設立したことに伴い、連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当中間連結会計期間の期首から適用しております。これによる中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当中間連結会計期間(自2024年9月1日 至2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	BPaaS事業	その他事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,777,572	513,233	2,290,805	2,290,805	—	2,290,805
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,128	—	7,128	7,128	△7,128	—
計	1,784,700	513,233	2,297,934	2,297,934	△7,128	2,290,805
セグメント利益又は損失(△)	277,354	△93,736	183,618	183,618	△457,520	△273,901

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△457,520千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△457,566千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称変更)

当中間連結会計期間より、従来「WaaS事業」としていた報告セグメントの名称を「BPaaS事業」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

(海外子会社の設立)

当社は、2024年12月25日開催の取締役会において、ベトナムに海外子会社として、新たに開発拠点を設立することを決議し、以下のとおり2025年4月8日に設立いたしました。

1. 海外子会社設立の理由

当社は創業より「リモートワークを当たり前にする」をミッションに掲げ、「既存事業の拡張」と「セグメント拡大」の2軸で売上成長を加速させることを目指しております。

この戦略実現に向け、テクノロジー/生成AI技術を活用した生産性向上や新サービス立ち上げを推進するため、さらにグループ全体での技術開発投資を強化していく段階です。

国内のエンジニア採用市場では十分な人材確保が困難であること、グラムス株式会社がベトナムにおけるオフショア開発のノウハウを保有していることを踏まえ、優秀なエンジニア人材を採用し、システム開発を行う拠点として、ベトナムに海外子会社を設立することといたしました。

2. 設立する子会社の概要

(1)	名称	CASTER TECH VIETNAM CO., LTD.	
(2)	所在地	Ho Chi Minh City, Vietnam	
(3)	代表者の役職・氏名	TRUONG TRUNG QUAN (General Director)	
(4)	事業内容	当社グループで運営する事業に関連するシステム開発	
(5)	資本金	30,000 USD/4,433千円 ※2025年4月8日時点、1USD=147.79円	
(6)	設立年月日	2025年4月8日	
(7)	大株主及び持株比率	当社 100%	
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社 100%出資により設立されます。
		人的関係	当社社員1名が当該子会社の会長、1名が監査役を兼務する予定であります。
		取引関係	当社事業におけるシステム開発業務を行う予定であります。